



# ろくのへ 議会だより

第79号

平成26年1月17日発行

●編集/発行●

青森県六戸町議会

祈願

議会改革に向けて、決意新たに



長期欠席議員の報酬減額を可決	2P
4名が一般質問、町政をただす	4P
議員行政視察研修報告	8P
議会報告会開催	12P

●編集/六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60 TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112  
ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp> Eメール [gikai@town.rokunohe.aomori.jp](mailto:gikai@town.rokunohe.aomori.jp)

議員報酬

# 長期欠席者の報酬を減額

## 議員提出議案 全員一致で可決

第4回12月定例会は、12月6日から10日までの会期で開かれました。町長から提出された議案は、25年度一般会計補正予算など9議案、報告2件を原案のとおり可決・承認しました。また、議員提出議案2件が出され、原案のとおり可決されました。一般質問には、4名の議員が登壇し、理事者側の考えをただしました。

主な内容は、次のとおりです。

### 議員提出議案

◆六戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

長期欠席者に対する議員報酬等の減額措置を行うため、改正するもの

#### 「改正内容」

議員は、7日以上六戸町を離れるとき、又は病氣療養若しくは議会活動及び議員活動が出来なくなったと認められる場合は届け出をする。

その後、帰町届又は議会活動及び議員活動ができる旨の届け出があるまでの期間が次のいずれかに該当する場合は、その期間の議員報酬月額について次に該当する割合の額を減額するものです。

- (一)届け出た日から90日を超えたとき 100分の20
- (二)届け出た日から180日を超えたとき 100分の50
- (三)届け出た日から365日を超えたとき 100分の70

◆「森林吸収源対策及び地球温暖化に関する地方の財源確保」のための意見書

産業民生常任委員会に付託されていました右記意見書は、11月26日に委員会を開催、採択とし、第4回定例会へ議員提出案件として提出しました。

← 全員一致で可決し、関係機関へ意見書を提出しました。

### 主な審議案件

◆工事請負契約の変更

- ・名称 (仮称) 六戸町地域包括支援センター建設工事及びバスセンター解体工事
- ・追加金額 1,543千円
- ・変更後の金額 76,912千円
- ・契約の相手方 株式会社 佐藤建設工業

「変更内容」  
解体工事の産業廃棄物発生数量の増・建築工事の変更・懸垂幕の追加・電気設備工事の変更等によるもの

◆土地改良(災害復旧)事業の施行

台風18号の暴風及び豪雨による災害で被災した農地及び農業用施設の災害復旧事業を施行するもの

- 農地 3件
- 農業用施設 1件
- 3,582千円
- 1,384千円



台風18号により被災した箇所

## 補正予算

# 平成25年度 一般会計 1億5508万円を追加し 総額 49億1578万円となりました

会計名		補正前	補正額	補正後	補正の主な内容	
一般会計	歳入	47億6070万円	1億5508万円	49億1578万円	普通交付税	420万円
					町税	5776万円
					地域の元気臨時交付金	3306万円
					臨時財政対策債	1280万円
					災害復旧債	510万円
	歳出	47億6070万円	1億5508万円	49億1578万円	農林災害復旧事業査定設計業務ほか	420万円
					ふるさと基金積立金*1	3306万円
					保育所運営費	4233万円
					児童手当	682万円
					合併処理浄化槽設置補助金	785万円
国民健康保険特別会計	13億120万円	4445万円	13億4565万円	一般被保険者療養給付費	3502万円	
				一般被保険者高額療養費	1031万円	
				後期高齢者支援金など	▲306万円	
農業集落排水事業特別会計	1億2960万円	72万円	1億3032万円	光熱水費	72万円	
介護保険事業特別会計	12億5323万円	531万円	12億5855万円	償還金および還付加算金、国・県費負担金償還金確定	522万円	
後期高齢者医療特別会計	1億96万円	17万円	1億114万円	システム端末更新ほか	17万円	

### 組合議会報告

一部事務組合議会議員による平成24年度決算報告がありました。

六戸町から支払われている負担金等は、次のとおりです。

#### ◇十和田地域広域事務組合

- ・一般会計負担金 7,581千円
- ・火葬特別会計負担金 11,213千円
- ・清掃特別会計負担金 34,467千円
- ・消防特別会計負担金 207,010千円
- ・学校給食特別会計負担金 35,524千円

#### 「構成5市町村」

十和田市・六戸町  
おいらせ町・五戸町  
新郷村  
(事業により構成市町村が異なります)

#### 「事業内容」

消防・学校給食・清掃(ごみ)・火葬の業務を行っています。

議会議員

- 河野 豊  
川村 重光  
下田 敏美  
杉山 茂夫

#### ◇上北地方教育・福祉事務組合

- ・議会費・総務費分担金 1,497千円
- ・福祉施設分担金 6,647千円
- ・障害者認定分担金 453千円
- ・介護認定審査会分担金 5,906千円
- ・青年の家分担金 4,466千円

#### 「構成9市町村」

十和田市・三沢市  
野辺地町・七戸町  
おいらせ町・六戸町  
横浜町・東北町  
六ヶ所村

#### 「事業内容」

福祉施設(からまつ寮・ぎんなん寮・もみのき学園・フレンドリホームもくもつく・グループホームなど)の運営や介護認定・障害者介護給付等審査・小川原湖青年の家の運営を行っています。

議会議員

- 高坂 茂

#### ◇十和田地区環境整備事務組合

- ・議会費・総務費分担金 2,000千円
- ・三沢地区衛生センタ1費 17,305千円

#### 「構成6市町村」

十和田市・三沢市  
五戸町・六戸町  
おいらせ町・新郷村

#### 「事業内容」

施設は六戸衛生センタ1と三沢地区衛生センタ1があり、し尿・浄化槽汚泥の処理を行っています。

議会議員

- 山本 実

**？ \*1 ふるさと基金積立金とは**

六戸町ふるさと基金条例により「自ら考え自ら行う地域づくり事業」の推進を図るため、六戸町ふるさと基金を設置し、積立しています。

26年度予算

# 予算編成の基本方針は

## 町長 — 経費削減と効率化に努める



しもだ としみ 議員  
下田 敏美

# 一般質問

一般質問は、3月・6月・9月・12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり質問することをいいます。その内容を要約してお知らせします。

# 消費税増税に伴い、 上下水道料金の値上げは

## 町長 — 増税分が加算されます

### 問

歳入が少ないなか  
にあつても、町民  
の期待にこたえる予算編  
成がなされることを願っ  
ている。26年度予算編成  
の基本方針は

**町長** 町の財政は、地方交付税や補助金をはじめとした依存財源が約72%を占めている。また、町税収入は伸び悩んでおり、歳出は、介護保険や後期高齢者医療をはじめとした社会保障制度に要する費用など経常的な経費が増加しているのに加え、26年4月から消費税増税及び、光熱水費等の値上げによる財政圧迫も懸念している。このようなことから、引き続き経費削減と効率化に努めつつ、第4次総合振興計画の基本構想に掲げる町の将来像の実現

を目指し、各分野の施策を進めていきます。

### 問

24年度決算では、1億7890万円の黒字が出ている。

9月頃、予算の見通しがついた場合、黒字が出るのであれば、町内の道路が痛んでいる部分がある。投資の経費を増やして維持補修をしてはどう

### 町長

数年特別加算という交付税がありましたが、特別加算を廃止するということになっており、1億円以上減額されると思われま。一番大事な住民の生活にかかわる部分を、どのような事態があっても守るための財政環境を堅持していくよう努めていきたいと思っています。

### 問

上下水道料金の値上げはないか。あるとすれば、町長がリーダーシップをとって抑制すべきでは

**町長** 上下水道の維持管理には、当然消費税増税分が上乗せされると予想されますので、その財源の使用料にも増税分が加算されます。

### 問

八戸圏域水道企業団広報誌「おらほの水」に、6億8千万円の純利益が生じ、積立したとある。即、値上げすべきでないと思う。

**町長** 水道料金は、消費税上乗せと決定さ

れています。

剰余金<sup>※2</sup>ですが、世増ダム等の返済額等にかかわる部分が約30億円あり、基金に積み立て返済処理しています。

また、新たな旧管工事にも相当支出します。十分な余裕がない中で、水道企業団も実施している現状ですので、ご理解いただきたいと思います。

### 町公共施設の利用

### 問

町公共施設で築30年以上経過している施設について、減免範囲を拡大し、利用頻度を上げる対策をすべきでは

### 町長

現在、築30年を経過している施設は6箇所あり、いずれも老朽化に伴う経費をかけ維持している状態です。今後も「受益者負担」として使用料または入場料を徴収せざるを得ないと考えています。

### \*2 剰余金とは

収入から支出を引いて残っている金額





すぎやま しげお  
杉山 茂夫 議員

\*3

# ふるさと納税の特典は

町長 — 特産品のPRを検討したい

**問** 平成22〜24年度までの「ふるさと納税」に、寄付金を受けた件数と金額は

**町長** 六戸町の状況は、22年度は3件8万円、23年度は2件3万円、24年度は3件9万円の寄付を頂いています。

**問** 最近、ふるさと納税による市町村の特産品などの特典が報道されているが、青森県や近隣市町村の特典は

**町長** 青森県は礼状のみで、特典は設けていません。

上北郡内の六戸町を含む7自治体で一定程度の寄付をされた方に、特典として食事券や施設の観覧券、特産品（特に農産物）等を贈呈しています。

**問** 六戸町は、ふるさと納税における特典がない。今後、一定額の寄付者に対し、特典を考えているか

**町長** 町では1万円以上への寄付をされた方に対し、感謝の気持ちとして、町の特産品の宣伝も兼ね「農産物詰め合わせ」をお送りしています。今後も同様の取り組みを継続しますが、お礼としての特典のPRも引き続き進めたいと思います。

**問** 特典がないのではなく、町のホームページで特典の記載がなく、全国に向けての発信がされていない。

**町長** ホームページを見ると、東京の笹塚で六戸町の連合生活改善グループの方がシャモロックすいとん汁など六戸町の特産品を販売している。ふるさと納税も含めて、単なる寄付額を増やす意味でなく、六戸町のPRに活用できると思う。もっと宣伝すべきでは



六戸町の特産品

**町長** ふるさと納税の特典について、特に掲載していません。自主的に地域に貢献したい、応援したいという意味で寄付していただくもので、特典を示すのはどうかと思うところもあるが、掲載した方がいいのか、宣伝の仕方など検討したい。



**問** 総務省のふるさと納税のアンケート調査では、7割の自治体の特産品の送付や宣伝に問題はないと答えている。もっと積極的に広報や特産品開発に取り組むべきでは

**町長** 「ベジタランド六戸」のイメージの中で、6次産業に向けたアイデアと施策を考えたから、担当課とも協議して検討を加えていきたい。



### \*3 ふるさと納税とは

「ふるさとを応援したい」あるいは「ふるさとに貢献したい」という方が、希望する自治体への寄付するもの。

寄付金のうち、2000円を超える部分については、一定限度額まで、所得税・個人住民税から全額控除されます。



こうさか しいげる 高坂 茂 議員

# 新年度予算の新たな施策は

## 町長 — 柔軟性を持って対応

**問** 平成26年度新たな施策は

**町長** 国・県の動向を見ながら、各課の予算要求において緊急度、重要度の高い施策があれば、財源とのバランスを考慮して検討する。

**問** 定住促進新築住宅建設の実態と事業継続は

**企画財政課** 平成24年度は合計47件、金額は2,529万円を交付。このうち、31世帯117人が町外からの転入です。本年度は現在まで、42件の申請で2,183万円の交付決定です。31世帯93人が町外からの転入です。

**町長** 本年度末で終了予定の制限事業ですが、継続の方向で検討していきます。

**問** 若者定住支援事業の実態は

**企画財政課** 若者世帯に2年に

限り家賃補助する制度で、平成22年度から実施しており、今現在、累計で59件申請がされています。

補助が終わって、町内に住んでいる方は、90%（定住率）に達している。

**問** 学区のバランスを

考えて、おいらせ町の事例からも、六戸町も特別区（新築住宅建設補助）を設けては

**町長** 六戸町の場所を選びながら住んでくださる、潮流という部分を確かめたなかで、次のステップとして検討していきたい。なお、本事業も効果が薄ければ事業撤退もありうる。

**問** 太陽光パネル設置補助金の実態は。また、今後の継続は

**企画財政課** 平成24年度は12件177万円を、今年度11月末時点で、31件438万円補助している。

**町長** ソーラー発電という意味において、

非常に有効的に活用されており、引き続き事業としていく。

**問** 国は、新たに減反廃止への農政へ転換しているが、六戸町の基盤である農業への支援施策は

**町長** 旧来からの知恵、可能性という部分を持ち得ている六戸町の農業施策という部分を、これまでの概念を取り払う意識をもって協議し、六次産業を含め斬新な農業施策を考え、支援していきたい。

**問** プレミアム商品券を現在の倍にする拡充支援は

**町長** その効果を検証し、ただ数を増やしていいのかわるか、実施主体の商工会等の意見を聞きながら考えたい。

**問** 少子化対策

出産祝い金（例…第2子10万円、第

3子20万円）を考えては

**町長** 少子化を考えるとそれなりに対応したいが、お金だけで解決できる問題と少し違う気がします。これからの検討課題としていきたい。

**問** 台風18号の被災状況

当町の被害状況と補助対象は

**町長** 農地29件、農業用施設9件、道路7件、土砂撤去3件の合計48件の被害届がありました。この中で補助対象は農地3件、施設1件で、復旧見積りが40万円以上の災害です。町としては、軽微なもの等内容は色々ですが、国の基準でもって対応せざるを得ないというところをご理解願いたい。

**問** 台風に対しての現場対応は

**町長** 台風18号に関して、天気予報の情報をもとに職員を招集し、情

報収集し3班集体にて全町の要留意箇所を中心にパトロールした。

なお、自然災害発生に関する対応マニュアルについては、その災害規模に応じた対策本部をとれる仕組みとなっている。

**問** 職員再雇用

役場職員の定年退職後の再雇用は

**町長** 当町は、大規模事業所やサービス産業等、就業の場が少ないため、若者の就業機会を失くさないためにも、退職者の再任用は考えていません。

**問** 技能職、専門職に対する考えは

**町長** 技能職は、運転業務の方しかいませんが、行革の中で置かないよう以前からなっています。このような事からしても、現在の段階で再雇用を取り入れる考えはないので、ご理解願いたい。



かわむら しげみつ  
川村 重光 議員

一問一答方式

災害時の避難場所

# 災害時の福祉避難所は

## 町長 — 社会福祉法人と協定

**問** 災害時の避難体制は

**町長** 災害時の避難体制は、気象予報・警報等の情報や、災害発生の予測や実際に発生した際の状況により、避難の準備等を促す「避難準備情報」、避難所等への避難を促す「避難勧告」や「避難指示」を行うことになっていきます。

**問** 避難施設状況は

**町長** 避難所は、小中学校、地区公民館等19ヶ所、避難場所は、小中学校のグラウンド等12ヶ所指定しています。

**問** 高齢者や被災弱者などの避難対策は、介護施設や医療機関との連携はどうか

**町長** 福祉避難所とは、障害者や高齢者等、通常の避難所生活において、特別な配慮（身体的ケアやコミュニケーション

**問** 福祉避難所指定の考えは

介護施設、医療機関及び関係機関と連携を図り、避難者の医療に迅速に対応したいと考えています。

**町長** 介護施設や医療機関との連携については、地域防災計画にありま

ますように医療救護班で医療を実施できない場合、病院または診療所に移送して治療します。また、寝たきりの方は、医師の判断により介護老人保健施設に移送して看護・介護することになっていきます。



福祉避難所の設置に関する協定書締結式

シオン支援等）を必要とする方々を対象に開設する避難所です。

高齢者など被災弱者については、この福祉避難所と連携しながら対応したいと思っています。

12月3日に7法人、13施設と福祉避難所の協定を締結しました。

防災

# 危険個所の 早急な対応を

## 町長 — 水利組合の協力を得て 検討する

**問** 今熊川の下流域（折茂新田水門付近）から川口まで、川底に砂がたまり、雑草、雑木等が見受けられる。

増水時に水が溢れる危険性があり、一般の台風で決壊や民家への浸水が危ぶまれた箇所がある。早急な対応が必要と思うが町の考えは

について、地元の水利組合の協力を得ながら検討したいと思います。

**問** 今熊川に災害復旧の対象にならなかつた護岸の決壊箇所がある。今回の災害復旧から外れた場合、町単独事業があるか

今熊川に災害復旧の対象にならなかつた護岸の決壊箇所がある。今回の災害復旧から外れた場合、町単独事業があるか

**町長** この流域は、県営大光寺かんがい排水事業で整備しており、台風等で被災した場合は、農林災害等の事業を活用しながら補修し、維持管理を行っています。

ここ数年の間に砂たまりや雑木等が増えてきている状況は確認していますので、今後の維持管理

**副町長** 台風18号関連は、国の激甚災害法に認定されています。したがって、一か所40万円以上という要件があり、40万円以下13万までの小災害は、地方債をもって工事する事が出来るという通知があります。

しかし、六戸町では、そのような箇所はないと判断しています。

# 平成25年度 行政視察研修報告



## 1. 期間

平成25年10月22日～25日（3泊4日）

## 2. 視察先

熊本県熊本市、福岡県川崎町

## 3. 用務

行政視察研修

○(株)ふるさとファーム（熊本市）

◇ハウス栽培の生産・出荷・販売について

○福岡県川崎町議会

◇議会改革について

熊本県(株)ふるさとファーム、土壌改良に重点を置いた栽培で数種類のトマトを土壌栽培・水耕栽培にて生産している。日々研究を重ね、試行錯誤で頑張っているのを肌で感じた。



附田 輝雄 議員

福岡県川崎町議会「議会改革」議員報告会・議会住民懇談会を中心に実施。「議会基本条例」の目玉は定例会の会期を「通年議会」としたことである。執行部、議会双方共、良かったと評価している。条例を制定する前に出来ることから実施することが大切である。



(株)ふるさとファームにて生産者よりトマト栽培の説明を受ける

川崎町議会は、開かれた、町民参加型の、存在感のある、信頼される議会を目指して議会基本条例を制定した。「会期を通年」とし、議会と町民が情報を共有するため、議会から町民へ説明する「議会報告会」



杉山 茂夫 議員

と町民から提言・要望を聞く「議会住民懇談会」を開催。さらに議員の資質・政策能力向上のため、議員研修会の実施。本会議のインターネット中継や住民アンケートの実施など地方議会改革の先進地である。六戸町議会も議会改革の途上にあるが、以上を目標にしながら基本条例の制定に一步一歩取り組む覚悟を新たにしました。



久田 伸一 議員

今、稲刈りの時期で、土作りのために米作りをしているハウスも多く見られる中、トマト栽培を中心に経営をしている会社である。水耕栽培では、中玉トマトを作り、自動式で丈夫なハウスであり、3〜4回入れかえての短期栽培で猛暑でも良く着果をさせていました。

土栽培ではミニトマトを作り、色づき始めて6月頃まで20段以上の収穫があり、栽培技術の高さが感じられる。販売は、市場や野菜業者を通じて全国へ、又、関東のハウス農家と手を組み販売している。甘熟で収穫しており食感も良くおいしいトマトである。後継者もいてトマト面積も増えて販路も拡大しており今後期待出来ると思う。販路拡大に力を入れており、私達も見習うべきと思う素晴らしい視察研修であった。



今回の目的である自治体における、議会の在り方、並びに開かれた議会を目指すには、どのような事が必要で、議員の活動はどうあるべきかを念頭に、川崎町の議会基本条例を制定した経緯について説明を受けました。



高坂 茂 議員

川崎町の議会として、本条例を制定するに当たり、住民に分かりやすい開かれた議会と、議員の活動が見えることが重要で、この条例に至ったという事です。

どこの議会もこのような改革で動いている訳ですが、わが町もこのような議会基本条例を策定するに当たり、身の丈に沿った十分な運用が可能な条例を目指すべきと、心に誓った研修でした。



福岡県川崎町議会にて

当議会では、議会改革と議会基本条例制定に向け取り組むなか、川崎町を研修して当町の議会改革の参考として、さらには、早期の議会基本条例制定を目指すしていきたいと考える。

川崎町議会基本条例は第1条から第23条から成り立っている。少ない条文であり基本的には、開



川村 重光 議員

かれた議会、町民参加型の議会、存在感のある議会、信頼される議会を目指している。決して、複雑な条例ではないが、議員、議会の基本的なあり方がちりばめられている条例文となっている。

当議会として大いに参考とすべきと思う。

通年議会は、議会の期間や活動のあり方の問題と思われるので、個人的考えとして、通常の議会でも対応できると思われ、当議会としては、時期尚早と考える。



下田 敏美 議員

「川崎町議会基本条例」は、8章23条で構成されており、常に町民を意識した条例になっている。私が注目したのは、次の点である。

本会議において質問を受けた者に反問権を与えていることと、通年議会で、会期を毎年4月から

翌年3月までとして、年間定期的会議を開催していることである。

又、議長・副議長の選出は、町民に対する透明性を高めるため、所信表明の場を設けることが謳われている。

我々は、当町議会基本条例制定にあたって、住民に対して、議会活動と存在感をアピールし、分かり易く開かれた議会を目指していく必要を感じた研修でした。



河野 豊 議員

株ふるさとファーム視察について(熊本市)

ミニトマトのハウス栽培状況をみて感じたことはコンピューター制御で溶液、日差し、温度管理を自動運転していました。

自動運転とのことで、大掛かりの設備かと思いきや、意外とコンパクトな設備にびっくりしました。

トマトの苗木は六千本で二千本を3ブロックに分け、年間を通して切れ間なく収穫しています。

施設の建設には多額の費用がかかりますが、それが出来るのも販売先の確保がしっかりしているからだそうでした。



水耕栽培自動制御装置



円子 徳通 議員

冒頭の町長の挨拶では、通年議会に触れ、当初、戸惑いもあったが、実際やってみると専決は基本的にありえないが、議決し即実行と時間短縮の点で、執行部にとってもメリットが多いとのことでした。

その後、議会改革についての説明、議論が活発に行われ、大変参考になりました。中でも、議長さんが言われた、「大事なことは基本条例を作る



母良田 昭 議員

川崎町の議会基本条例は、平成22年6月に規定され、平成23年6月より通年議会を開会し、平成24年9月より通年の会期となりました。私からは、議会報告会

ことではなく、議員としての活動は出来ることからやっていく」が強く印象に残りました。

また、基本条例の制定後、どの議員さんも議会活動が町民に見えるようになり、議員・議会への町民からの批判が無くなったとのこと。議員としての自覚が出てきた。

今回の研修を終えて、当町の議会もまた、いろんな意味で「議会基本条例」の必要性や議会活動の活性化を主軸に、町民と議会のあり方を見直す良い機会と捉え、総意のもとに今後この課題に取り組んでいきたい。

について質問させていた

まず一つ目は、議会報告会の町民への周知の方法です。議会だよりや、チラシ、各町内会長への文書での依頼、防災無線での広報活動を行うなど、住民懇談会で、議会活動への理解を得る努力をされています。二つ目は、報告会への参加人数です。一年間で100名を超える参加者



山本 実 議員

議会改革の先進地である福岡県川崎町で、開かれた議会、町民参加型の議会、存在感のある議会、信頼される議会について研修をさせていただきま

施していることなど、議会本来のあるべき姿を痛感しました。

また、議会会期を4月から翌年3月までの会計年度を会期とする通年議会を条例化して、このことにより議会は一年を通して会期中で、いかなる事態にも即応できる状態にあり、「常に議会は動いている」ことも勉強しました。当議会でも条例化しなければならぬ」と考えさせられました。



苜米地 繁雄 議長

行財政改革が進められる中で議会に対し住民の厳しい視線が向けられるようになってきた。

昨今、議会は住民に対し議会活動と存在意義を知って頂くことが必要である。



金崎 盛三 議員

六戸町を県内外にアピールするにはどうしたらよいのか、今全国各地で有名なキャラクターに「くまモン」というのが大活躍し、熊本の知名度が一気に上昇したらしい。

それにより旅行者も増えたようだ。

研修先の川崎町にも「小梅ちゃん」というキャラクターが活躍しているようだ。ゆるキャラがもてはやされている。あとは、災害に強い町づくりをしていかななくてはならない。旅行者にも分かりやすく、非常時の避難場所等通達するにはどうしたら良いのか考えていく必要がある。



川崎町庁舎前にて

# 議会のイベント

(25年9月～11月)

## 9月

1日 青森県民駅伝競走大会反省会

2日 議会運営委員会

2日 総務常任委員会

2日 産業民生常任委員会

3日 八戸・十和田・奥入瀬ライン整備促進に関する要望活動

3日 主要地方道三沢十和田線整備促進に関する要望活動

5日 六戸秋まつり(～8日)

5日 平成25年第3回町議会定例会(～12日)

10日 決算特別委員会(～11日)

12日 町議会広報委員会

13日 第59回六戸町敬老会

19日 十和田地区「秋の全国交通安全運動」総決起大会

27日 町議会広報委員会

30日 第79回町村議会広報研修会(～1日)

## 10月

6日 第5回南部祭囃子大競演会

7日 町議会広報委員会

10日 地方分権推進シンポジウム

10日 町議会広報委員会

11日 町議会広報委員会

22日 行政視察研修(熊本県・佐

28日 賀県・福岡県(～25日)

28日 正副議長、事務局長研修会

## 11月

1日 第3回上北郡町村議会議長会定例会

2日 メイプルマラソン大会

2日 メイプルタウンフェスタオープンングセレモニー

5日 十和田地域広域事務組合議会常任委員会調査視察

8日 知事を囲む行政懇談会

13日 第57回町村議会議長全国大会

13日 議会改革検討委員会

16日 江渡あきのり君を励ます会

20日 道州制に関する議員研修会



道州制に関する議員研修会の様子

20日 十和田地区環境整備事務組合議会定例会

22日 平成25年度青森県高規格道路建設促進期成会総会

24日 六戸町連合PTA・学校保健会研究会

26日 上北郡町村議会議員研修会

26日 上北郡町村議会議員研修会

26日 上北郡町村議会議員研修会



上北郡町村議会研修会の様子

26日 産業民生常任委員会  
28日 十和田広域事務組合議会

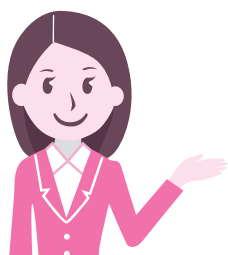


お知らせ

# 町の未来が見えてくる!

## 議会の傍聴はお気軽に。

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合います。  
3月は予算特別委員会があり、26年度予算審査を行います。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



◆お気軽にお電話ください  
六戸町議会事務局 ☎0176-55-4547(直通)

## 次回定例会は3月上旬予定。



## 「防犯灯と安全について」

出戸 一男（上吉田）

町内会の問題について掲載させていただきます。  
それは、町内会の防犯灯（外灯含む）とその電気料金のことです。

町内の一年間の電気料金は、町内会費予算の38%、21万円（平成25年）です。通学路の安全確保、防犯上の事故防止等の観点から、どこの町内会でもほぼ同様の電気料金の支出だと思えます。

外灯代の節約か、安全か、と問われれば、当然「安全優先」と答えます。皆様ご存じの「ストーカー被害」、連日、新聞・テレビ等で、大々的に報道されています。その発生の大部分は、人通りの少ない、外灯等もない、暗い場所です。幸い当町内会では、ストーカー被害は、起きていません。起きてからでは遅いのです。暗い危険な場所は、当町内会だけでなく、六戸町全体を見渡せば、沢山あると思えます。

防犯上の対策は、個々の町内会だけではなく、行政も積極的に参画し、町内会と行政との二人三脚（協働）で実施しなければ、効果はありません。

当町内会は、町内会費の増額等で、脱会者が増えています。深刻な事です。隣の町では、外灯代は全額無料だと聞いています。

町長の年頭のあいさつで「お互いに支え合い、助け合い、協働するまちづくり」と述べています。真（まさ）にその通りだと思います。町内会の電気料金の補助等を、実（み）のある、そして、実（じつ）のある行政の勇断を切に期待します。

議会広報委員会では、町民の皆様のまちづくりに対するご意見、ご要望の投稿を募集しています。どしどしお寄せください。お待ちしております。

発行責任者  
議長 苦米地 繁雄  
議会広報委員 川村 重光

今年度は、全国広報コンクールでの入選を目標に掲げ、委員一丸となり研鑽を積んで参りたいと思えます。  
最後に、町民の皆様には「ろくろのへ議会だより」を通して、議会活動をわかりやすく伝えて行きたいと思えますので、今年もよろしくご愛読をお願いいたします。

# 六戸町 議会報告会 開催のお知らせ

お気軽にご参加ください

六戸町議会では、町民の皆様には議会改革や議会活動について報告する会を行います。町民の皆様から議会に対するご意見をお聞かせください。

■日時  
平成26年2月14日 金曜日  
午後6時～（約2時間の予定）  
（受付、午後5時30分より）

■場所  
六戸町文化ホール

■その他  
事前に申し込みは必要ありません。  
直接会場にお越しください。

■問い合わせ先 六戸町議会事務局  
☎55-4547（直通）



## 編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
昨年は、大型台風や突発的大雨、記録的猛暑など、自然災害の怖さを改めて、実感した年だったと感じています。  
今年度は、災害のない穏やかな年でありたいように、また4月から消費税が8%となります。増税の恩恵が、実感できるような好況な年でありたいように願うばかりです。  
さて、昨年、広報委員会では、はじめての試みとして町村議会全国広報コンクールへ「ろくろのへ議会だより」の応募をかねて、全国町村議会広報研究会に委員全員で参加をいたしました。  
今年度は、全国広報コンクールでの入選を目標に掲げ、委員一丸となり研鑽を積んで参りたいと思えます。  
最後に、町民の皆様には「ろくろのへ議会だより」を通して、議会活動をわかりやすく伝えて行きたいと思えますので、今年もよろしくご愛読をお願いいたします。